

# 時間割作成ソフト（駒ちゃん）ダイジェスト版

「駒ちゃん」は、従来ボードで行っていた時間割作成作業をコンピュータ上で、出来るようにしたものです。ボードを使って時間割作成ができていた人は、必ずこのソフトで時間割作成ができます、氏名の入力と持ち時間の入力以外は、原則マウスのクリックだけの操作になります。パソコンの操作に不慣れでも大丈夫です。

また、体育や芸術などの同時展開の駒の入力後、**自動入力を使えば**、条件にもよりますが**4分前後で残り駒数30前後まで完成できます**。（同時展開の駒入れ後、4分ほどで95%以上の駒が入ることになります）

取り扱える条件は、右表のとおりです。

尚、この説明書はダイジェスト版です。詳細説明書は、フォルダー「説明書」の中の「駒ちゃんの詳細説明書.pdf」です。

以後、文中の（参照：P○）は詳細説明書のページです。

クラス表示	A組、B組・・	1組、2組・・
学年	3学年	3学年
クラス数	10クラス	9クラス
教員数	150人	99人
持ち時間数には制限はありません		

## 1、必要な機器

ウィンドウズ対応 エクセルが利用できる環境。

## 2、ソフトの起動

フォルダー「Asumipasob」の中から「駒ちゃん(クラスがABC).xls」を読み込むだけです。

尚、この後の説明は、パソコンで「駒ちゃん」が作動していることを前提で説明します。

右図は、初期画面です、授業日の指定を行います。

授業のある、なしの指定がダブルクリックで指定できます。

「指定終了」をクリックするとメニュー画面（図2）になります。



図1

## 3、メニュー画面

メニューは5つあります。

尚、右下の「授業時間数計算への入口」については、フォルダー「説明書」の中の「授業時間数計算ソフトの説明書.pdf」をお読みください。

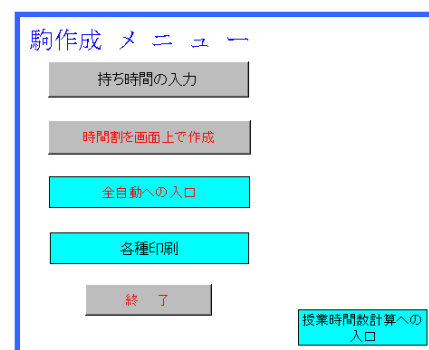


図2

## 4、駒ちゃんの全体像の確認

駒ちゃんの全体像を理解するために、まずメニューの一番上から実行してみてください。

- ①「持ち時間の入力」：ここでは、メニューの3番目の自動入力を確認するために、**データを変更せず**、コメント文を読んだら「戻る」ボタンで戻ってください。  
（現在、全ての先生の持ち時間のデータが入っています）
- ②「時間割を画面上で作成」：ここでも、**データを変更せず**に「メニュー」ボタンで戻ってください。  
（現在、体育などの同時展開のデータだけが入っています）
- ③「全自動への入口」：外部ファイルを読み込む関係上、フォルダー「Asumipasob」がないと作動できません。（**一番最後をお読み下さい**）作動後は、クリックするだけです。  
上の②をもう一度行い、結果が反映されているか確認して下さい。
- ④「各種印刷」：すべてクリックだけです、7種類の印刷を確認して下さい。
- ⑤「終了」：ファイル保存ダイアログボックスが表示されますので、名前を変えて保存をしても、キャンセルで保存をしなくても、どちらでも一度終了して下さい。

## 4、各メニューの説明

先生の持ち時間が入っていないと駒入れ作業の説明ができませんので、最初に「時間割を画面上で作成」で駒入れ作業を説明してから「持ち時間の入力」の説明をします。

### メニュー2：時間割を画面上で作成

一般に駒入れは、1) どの先生の 2) どの科目を 3) どこへ 入れるで、行われます。この順序でまず機能の説明をします。

#### 1) どの先生（駒入れ対象の先生の指定）3つの方法

##### ①氏名の上でクリック

何人でも上げることができます。右図は、4番高野、10番須川、7番金子の順番でクリックしたものです。氏名の欄が水色に変化し、同時に右上に一番上の高野先生の残りの持ち時間を表示します。また、水色に変化した先生をクリックすると、元の位置に戻ります。

尚、「解除」ボタンをクリックすると、一度に上に上がっている先生を元の位置に戻すことができます。

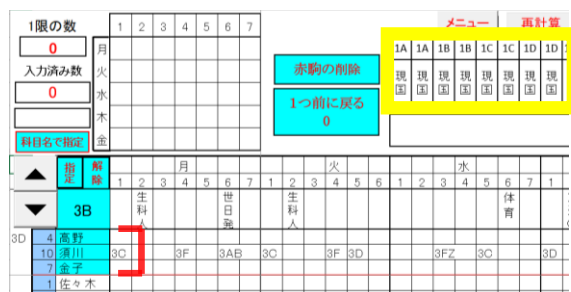


図3

##### ②「指定」ボタンをクリック（参照：P10）

リストボックスから指定できます。（図4左）

##### ③「科目名で指定」ボタンをクリック（参照：P10）

リストボックスから指定できます。（図4右）

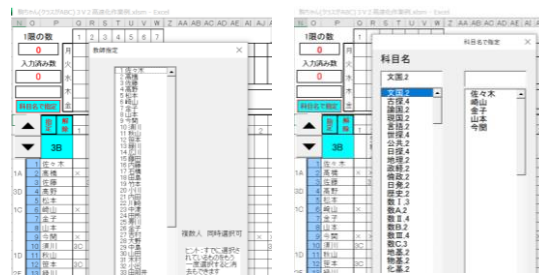


図4

#### 2) どの科目（駒入れを行う科目の指定）

##### ①図3の黄色枠内をクリック

以後、この位置を「持ち時間」と呼びます

図5は「持ち時間」の中から 1C 現国 をクリックしたものです。

「1C」が大きな赤駒に変化し、クラス表示が1Cに変化、更に一部が水色等に変化する。

水色：駒入れができる

黄色：駒を入ると3時間連続以上になる

白色：駒入れはできない

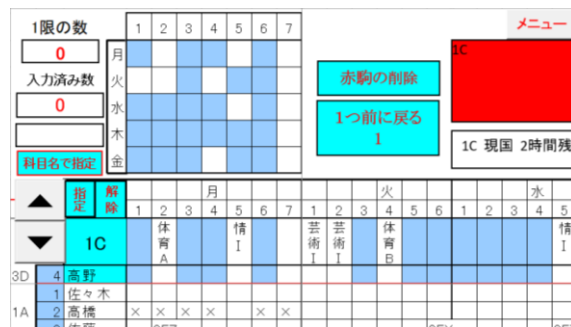


図5

#### 3) どこへ（見つける2つの方法）

##### ①スピンドルボタン（参照：P16下）

駒を入れる時、先生の時間が空いていることは当然ですが、関係する複数のクラスの空状態も知る必要があります。

右図、黄色枠内のスピンドルボタンを使うと、クラスの空状態を見ることができます。



図6

スピンドルボタンをクリックすると、クラス表示を最大5クラスまで増減ができます。  
 下向きのスピンドルボタンを1回クリックすると、紺色枠内のクラス表示が1行増えます。更に、赤枠内の白色の部分でクリックすると、表示するクラスの指定できます。

## ②科目名の上でクリック

3 A 月曜6限 「世日発」と表示されていますが、科目名「世日発」の上でクリックすると、この授業を担当する全員の先生が上に上がってきます。

この場合、10番須川、18番内藤が上がってきます。

図7

## 4) その他 (便利なボタン) (参照:P12)

### ①「赤駒の削除」ボタン

クリックすると赤駒を削除して、駒入れ作業を中止します。

### ②「1つ前に戻る」ボタン

このソフトでは、「駒入れ」「駒移動」「駒削除」などの作業を記録しています、このボタンをクリックすると、1つ前の状態に戻すことができます。

図8

駒入れ作業は、上記した操作の組み合わせで完全にできます

## A) 駒入れ

1 C 「現国」 2単位を月曜4限と火曜5限に入れることを考える。

### ①4番の氏名の上でクリック

高野先生が上に上がってくる

### ②持ち時間の上でクリック

黄色枠内の1 Cでクリック、赤駒に変化

### ③月曜4限でクリック

月曜4限に1 Cの駒が入る

1 Cは2単位ものなので、続けて駒入れができる。

### ④火曜5限でクリック

火曜5限に1 Cの駒が入る。以上、たった4回のクリックで2つの駒の駒入れが終了。

尚、③の後、駒入れを中止したい場合は、「赤駒の削除」ボタンをクリックすれば中止できます。

図9

## B) 駒の移動と削除 (参照:P19)

駒の移動は、2ステップで終了

月曜3限の1 Aを火曜6限に移動することを考える。

### ①月曜3限でクリック

月曜3限でクリックすると、1 Aが小さな赤駒に変化する。

尚、この時点で、「赤駒の削除」ボタンをクリックすると**1 Aの駒を削除**できます。同時に、1 Aの駒は持ち時間に戻されます。

## ②火曜6限でクリック

火曜6限に1 Aの駒が入る

以上で、駒の削除例と移動例、終了。

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1A														
4	高野	1BZ													
10	須川														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1A														
4	高野	1BZ													
10	須川														

図10

## C) 連続駒入れI

月曜4限の1 Dを火曜6限に、火曜6限の1 Cを月曜3限に移動することを考える。

この場合、火曜6限の1 Cを月曜3限に移動する時、高野先生は空いて大丈夫ですが、1 Cが空いているか確認しなければならない。

### ①スピンドルボタンでクラス表示を広げる

スピンドルボタンでクラス表示を広げて1 Cの状況を見ると、空いていることが分かる。

### ②月曜4限をクリック

1 Dが赤駒に変化

### ③火曜6限をクリック

火曜6限に1 Dが入り、1 Cが赤駒に変化

### ④月曜3限をクリック

月曜3限に1 Cが入る。以上、たった**4回のクリックで2つの駒の連続移動が終了**。

しかし、本来の駒入れでは、移動先を先に空けておくのが一般的です、この場合は1 Cの駒を先に移動しておいて、その後で1 Dの駒を移動する方法が良いかも知れません。

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1D														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1C														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1C														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1C														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

図11

## D) 連続駒入れII

月曜4限の1 Dを火曜3限に移動することを考える。

ただ、すでに火曜3限の1 Dには、「地理」が入っていることが分かる。そこで、この科目名「地理」の上でクリックして担当する先生を上に向けて、状況を確認する必要があります。

### ①科目名「地理」の上でクリック

クリックすると13番緑川先生が上がってくる。

緑川先生は、月曜4限が空いていて交換できることが分かります。

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1D														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1D														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

▲	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6
▼	1D														
3D	4 高野	1BZ													
1A	1 佐々木														

## ②月曜4限でクリック

高野先生の1Dが赤駒に変化する

## ③火曜3限でクリック

火曜3限の高野先生のところに1Dが入り

緑川先生の1Dが赤駒に変化する。

## ④月曜4限でクリック

月曜4限の緑川先生のところに1Dが入り終了。

	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	火	4	5	6
▲																
▼	1D			体育A				言語		芸術I		現国	体育B	情I		
3D	4 高野	1BZ				1C	1DZ					1D		1B		
2E	13 緑川	1A				1E								1A		
	1 佐々木															

	指定	解除	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	火	4	5	6
▲																
▼	1D			体育A		地理		言語		芸術I		現国	体育B	情I		
3D	4 高野	1BZ				1C	1DZ					1D		1B		
2E	13 緑川	1A				1D	1E							1A		
	1 佐々木															

図 1 2

## ここで4つの機能を理解して下さい

- 1、クラス表示の変更の仕方（スピンドルボタン）
- 2、「科目名」の上でクリックすると、全員の担当先生が上に上がってくる
- 3、重なった駒は、次の駒入れになる
- 4、駒の移動や削除は、**一番上だけでなく2番目以降でもできる**（これ重要なことですよ）

## E) 同時展開の駒入れ、移動、削除（参照：P16）

同時展開の駒入れ、移動、削除も、今まで説明してきた方法と基本同じです。

ただ同時展開の場合は、入力先や移動先が必ず空いている必要があります。

もし空いていないとうっかり、重なった駒を削除してしまうことがありますので注意が必要です。

（現在、同時展開の駒は入力済みです、下の文書を読んで削除しないと、当然ですが入力出来ません）

同時展開の駒入れをやってみましょう。

ここでは、3年A組～F組の6クラス同時展開で9人の先生が担当する「文選①, 2」の駒を月曜3限と4限に入力することで考える。

### ①「科目名で指定」ボタンをクリック

「科目名で指定」ボタンをクリックすると、担当する先生全員が表示されます、表示された中から1人指定すると指定された先生が一番上に、それ以外の残りの先生8人がその下に自動的に上がってきます。

全員の先生の月曜3限と4限が空いていることが確認できます。併せて、一番上の先生の持ち時間が黄色枠内に表示されます。

図 1 3

### ②黄色枠内の「文選①」をクリックする。

「文選①」が赤駒に変わり、同時にクラス表示欄が増え、A組～E組まで表示されます。

同時に表示されるのは、5クラスまでです。F組が表示されていません。

図 1 4

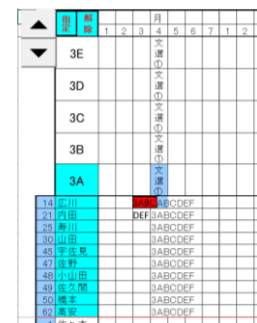
図 1 5

図 1 6



F組は、例えばA組の上でクリックしてF組に変えて確認します。

これで、3年A組～F組の月曜3限と4限が空いていることが分かります。



③月曜3限をクリックする (図15)

全員の先生の月曜3限に駒が入ります。

④月曜4限をクリックする (図16)

「文選①」は、2単位ですので、続いて月曜4限でクリックして、2つ目も入れ、駒入れ終了となります。

図17

尚、同時展開の駒の1つをクリックすると図17の様に全ての駒が消え赤駒になります。

赤駒がある状態で、移動先をクリックすれば全ての駒がその位置に移動します。また、「赤駒の削除」ボタンをクリックすれば、月曜3限の全ての駒が削除されます。

同時展開の駒入れでは、1つの駒に行った選択や移動、削除などの操作が、全部の駒に同じ様に働きます。選択、移動、削除などの操作は、単独駒と同じと考えて下さい。

同時展開では「科目名で指定」ボタンが便利

同時展開の駒の全部ではなく1つだけを削除したい場合は、「作動中」ボタンをクリックしてプログラムを停止してから直接DELキーで1つ削除して下さい。尚、駒入れ作業でキーボードを使うのはこの操作だけだと思います

## F) 担任、×、LHRの入力 (参照：P8, 9)

①担任の入力は、**N列でクリック**するとダイアログボックスが開き選択入力ができます。消去する場合も同じくN列の入力済みの位置でクリックすれば消すことができます。

②×、LHRの入力は、**空白セルでクリック**するとダイアログボックスが開き選択入力ができます。消去する場合は、×、LHRなどの上でクリックすれば消すことができます。

駒入れシートで、まだ説明していない2つのボタンについて

「再計算」ボタン：再計算を行い、クラス表示を更新し、残り駒の確認ができます

「作動中」ボタン：プログラムを停止し、本来のエクセルの機能が使える様にします

尚、表示は「**停止中**」に変わります。もう一度クリックすると表示は

「**作動中**」に変わりプログラムを再開します

また、記録していた作業手順をクリアします。

当然のことですが、駒入れは必ず体育、芸術などの同時展開の駒入れから行って下さい。  
ヒント：、駒入れ先や移動先にすでに駒が入っている時、駒入れを中断するのではなく、**LHRなどの必ず空いている場所に仮置きしておき**、問題を解決してから駒移動で入れると、効率がいいですよ。**仮置きが便利**

## メニュー１：持ち時間の入力

一番上の「持ち時間の入力」をクリックすると、図１８のようになります。

コメント文が表示されていますので、コメント文をお読みください。コメント文はコメント文上でクリックすると消えます。

「データ消去」をクリックすると右図のようになります。

年度が変わっても、ほとんど変更がない科目名、氏名は消去されませんが、DE Lキーで消去するか、上書きで訂正して下さい。

ここでは、教員氏名、科目名、単位数、担当クラスを入力します。  
(科目名、氏名以外は半角大文字で入れて下さい)

尚、各先生方の持ち時間科（科目名、クラス）の入力は、**ダブルクリック**で表示されるダイアログボックスで入力できるようになっています。

図１８

図１９

### １）準備：B列に科目名と単位数を入れる

科目名は、全角３文字以内、単位数は半角１文字（１～９）で入れ、科目名と単位数の間は必ず半角カンマ「，」で区切ってください。例：現国,2 選物化,3

注意：同時展開の授業は、必ず同じ科目名にして下さい（参照：P５）

### ２）準備：E列に氏名を全角３文字以内で入れる

氏名の上でダブルクリックして、各教科の区切りを入れる。

（ダブルクリックして、氏名が水色に変化すれば、国語科、社会科など教科の区切を指定したことになります。印刷時、罫線が太くなり表が見やすくなります）

### ３）各先生方の持ち時間を入れる（参照：P４～７）

入力しようと思う先生の科目名の欄（例：セルF11）で、**ダブルクリック**すると、右図の様なダイアログボックスが開きます。

①科目名のリストボックスから科目名を選択する。

②学年（１～３）を選択する

③クラスをクリックする

クラスを指定すると自動で半角カンマが付きます。

図中の黄色の部分「，を自動的に付ける」のチェックをはずしてからクラスをクリックすると半角カンマは付きません。

入力例：現国,2 1A,B,C 体育,3 3A B C, D E

カンマがないと同時展開になります

体育の3A B Cと3D Eは同時展開になります

④「確定」をクリックすると続けて、入力ができます。

「終了」をクリックするとダイアログボックスを閉じ、終了します。

終了すると自動的に、持ち時間を計算しC列に入力されます。

図２０

## 入力の注意点（参照：P5, P6）

①科目名は全角3文字まで、単位数は半角1～9までの1文字、科目名と単位数は半角カンマでくぎって下さい      例：現国,2    選物化,3

②同時展開の授業は、必ず**同じ科目名**にして下さい

例えば、3Aの物理と化学の選択を2人の教員で同時に持つ場合は、科目名として「選物化,3」などとして下さい。

③2クラス以上の同時展開の指定

例えば3単位の体育を3年A組、B組、H組の組み合わせで同時に実施する場合、  
体育,3 3ABH  
の様に、クラスの間に半角のカンマを入れないで下さい、

④クラス表示が同じ場合、**識別マーク**を付ける

1科目目 現国,2 1A,B,C,D    2科目目 言語,2 1AZ,BZ,CZ,DZ

2科目目のクラス指定に「Z」がついています、この「Z」は**識別マーク**です。

**識別マークは半角大文字の「K～Z」までの任意の1文字です**

もし、2科目目に 言語,2 1A,B,C,D と入力してしまうと、時間割を作成する時、1Aと駒を入れると、この1Aは現国の1Aなのか、言語の1Aなのか区別が付きません、そこで上の様に1AZと識別マークを付けておけば、駒入れの時1Aと入れれば現国となり、1AZと入れれば言語となり区別（識別）ができることになります。

もし、このソフトでトラブルが発生したら②③④しか  
ありません、**詳細説明書P5、P6を必ずお読みください**



メニュー３：全自動への入口、メニュー４：各種印刷、メニュー５：終了、は表示されるメッセージボックスに従って操作して下さい。（参照：P21～23）

「駒ちゃん(クラスがABC).xlsm」は、フォルダー「Asumipasob」からコピーして、どのパソコンでも動かすことができますが、その場合自動入力を動かすためには、フォルダー「komab」の中からファイル「自動ABC.xlsm」もコピーして下さい。

この説明書は**ダイジェスト版**です。詳細説明は、フォルダー「説明書」の中の「駒ちゃんの詳細説明書.pdf」を一度はお読みください。

メニュー画面の右上に使用期限が表示されていない場合は、「駒ちゃん」は試用版です。試用版では、3年の駒入れで一部制限があります。

正規版の入手方法はメールでお問い合わせください。

尚、フォルダー[Asumipasob]の中のフォルダー[subpro]の中の「電話用V○.xls」で短時間に正規版にすることもできます。

連絡先：[k-mamoru@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-mamoru@mtg.biglobe.ne.jp) にメールをして下さい

または、インターネットで

「あすみパソコンクラブ 時間割作成 所見文」

で検索して下さい

（メールアドレスの変更があっても、必ずホームページにたどり着きます）

あすみパソコンクラブ